

経済産業省 令和3年度 健康経営度調査フィードバックシート <サンプル>

貴社名: (サンプル)

■加入保険者: XXXX健康保険組合

上場/非上場

■所属業種: 土業法人、其他法人、公法人・特別

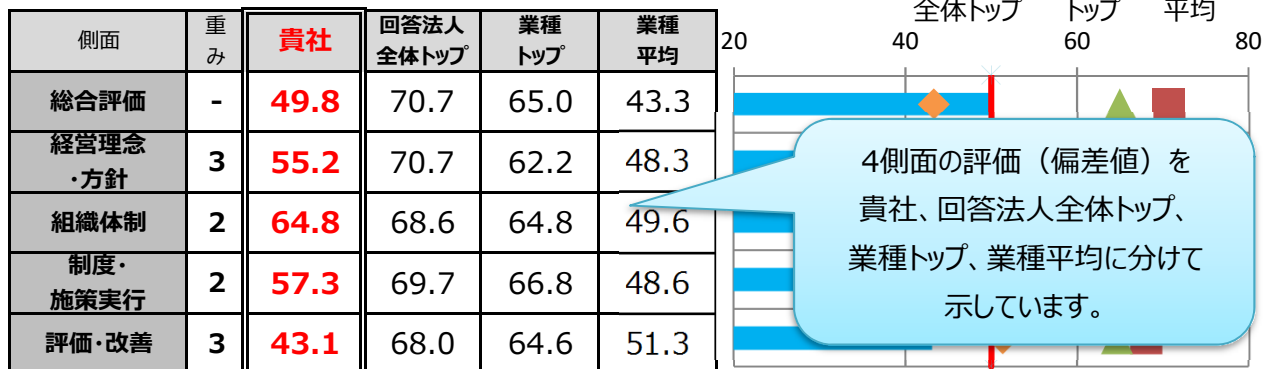
健康経営調査にご回答いただいた各社に以下のようなフィードバックをお送りします(本サンプルの項目やレイアウト等は変更の可能性があります)。

①健康経営度評価結果

■総合順位: **501~550位/3000社中**■総合評価: **49.8** ↓6.4 (前回偏差値 56.2)

※「ホワイト500」に該当するかについては、回答法人全体ではなく申請法人に絞った順位で判定するため、フィードバックシートの順位から繰り上がり認定される場合があります。

②評価の内訳



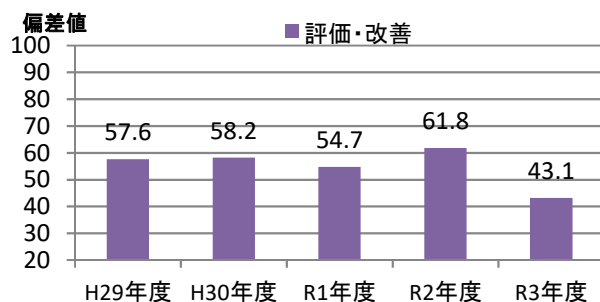
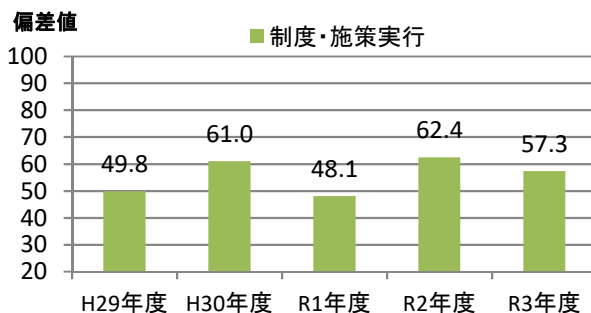
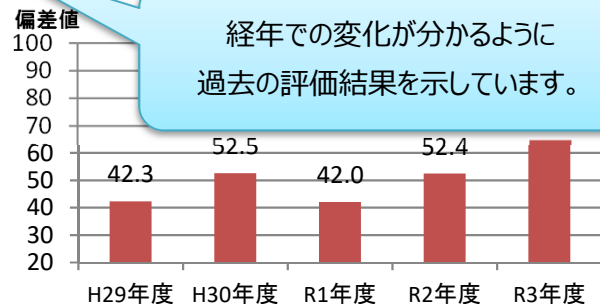
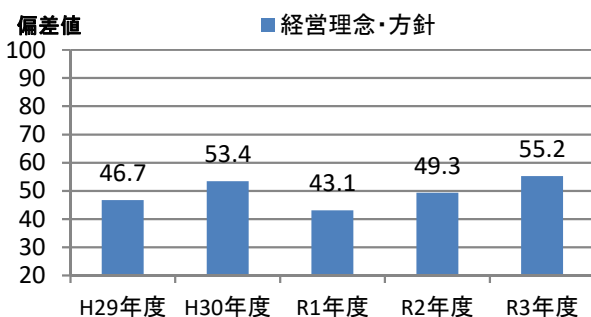
※各側面の数値は、回答法人全体の平均に基づく偏差値です。各側面の数値に重みを掛けた値を合算して、得点・順位を算出しています。

※トップの数値は項目毎の最高値です。なお、所属業種の有効回答が5社未満の場合、業種トップには「-」を表示しています。

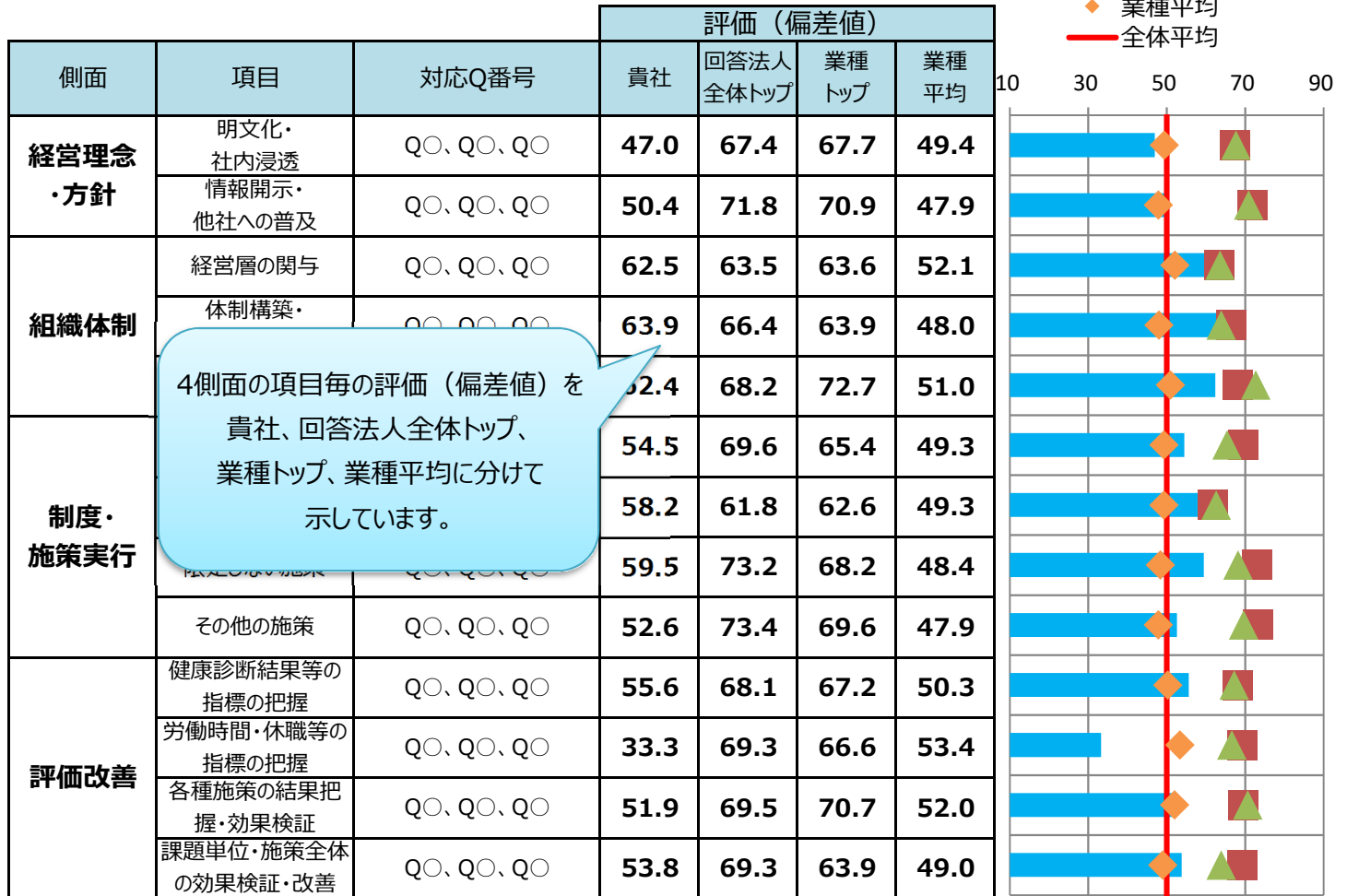
③評価の変遷(直近5回の評価結果)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度
総合順位	201~250位	301~350位	401~450位	401~450位	601~650位
総合評価	50.0	51.1(↑1.1)	52.1(↑1.0)	56.2(↑4.1)	49.8(↓6.4)
【参考】回答企業数	1239社	1800社	2328社	2523社	3000社

※総合評価の偏差値推移の括弧内は、前年度との比較を示しています。



④ 評価の詳細分析



※各側面の数値は、回答法人全体の平均に基づく偏差値です。トップの数値は、順位が1位の法人の成績ではなく項目毎の最高値です。

⑤ 健康経営の戦略

■ 経営上の課題と期待する効果

健康経営で解決したい経営上の課題	人材定着や採用力向上 新規採用が難しい中で、ノウハウや技能を持つ従業員に健康で長く働いてもらうことの実現が、事業活動を推進する上で大きな課題である。
健康経営の実施により期待する効果	従業員が長く働き続けたいと感じられることを期待している。具体的な指標として、平均勤続年数については、中途入社した従業員の5年後定着率80%を目指し、また産休・育休復帰後の就業継続率については、現在の50%から70%以上への改善を目指す。

※貴社が健康経営度調査Q18.SQ2.で回答した内容を転記しています。

■ 情報開示媒体

媒体の種類別	統合報告書
URL	https://www.www.www

※貴社が健康経営度調査Q19.SQ4.で回答した内容を転記しています。

⑥具体的な健康課題への対応

■健康経営度調査における健康課題の分類と対応度

番号	課題分類	課題への対応度		対応する設問
		貴社	業種平均	
1	健康状態にかかわらず全従業員に対する疾病の発生予防	51.7	50.0	Q〇、Q〇、Q〇
2	生活習慣病などの疾病の高リスク者に対する重症化予防	58.5	49.9	Q〇、Q〇、Q〇
3	メンタルヘルス不調等のストレス関連疾患の発生予防・早期発見・対応	52.3	50.0	Q〇、Q〇、Q〇
4	従業員の生産性低下防止・事故発生予防	46.6	48.4	Q〇、Q〇、Q〇
5	女性特有の健康関連課題への対応、女性の健康保持・増進	52.2	52.2	Q〇、Q〇、Q〇
6	退職後の職場復帰、就業と治療の両立	35.9	49.5	Q〇、Q〇
7	労働時間の適正化、ワークライフバランス・生活時間の確保	57.2	57.2	Q〇、Q〇、Q〇
8	従業員間のコミュニケーションの促進	52.1	52.1	Q〇、Q〇、Q〇
9	従業員の感染症予防（インフルエンザなど）	62.4	62.4	Q〇、Q〇、Q〇
10	従業員の喫煙率低下	67.2	52.7	Q〇、Q〇、Q〇
11	精密検査や任意健診などの受診率の向上	52.4	62.4	Q〇、Q〇、Q〇

各課題への対応度に関する評価（偏差値）を貴社、業種平均に分けて示しています。

※各分類の数値は、それぞれの課題に対応する評価得点を全社平均に基づく偏差値に変換した値です。

※下記「重点を置いている具体的な施策とその効果」のテーマには、黄色で網掛けしています。

■重点を置いている具体的な施策とその効果

効果 検証 ①	課題のテーマ	従業員の生産性低下防止・事故発生予防（肩こり・腰痛等の筋骨格系の症状や、睡眠不足の改善）
	課題の内容	社内就業に関するアンケートをとったところ、「就業中に眠気を感じることもある」と回答した従業員の割合が高い結果となった。生産性の低下に影響を与えていると考えられるため改善が必要である。
	効果検証結果	現時点では健康診断結果等への定量的な効果はまだ出ていないが、定性的な効果を把握するために利用者を対象に行ったアンケートでは、回答者のうち90%が「制度の利用により生産性が向上した」と回答した。
効果 検証 ②	課題のテーマ	労働時間の適正化、ワークライフバランス・生活時間の確保
	課題の内容	XXXX
	効果検証結果	XXXX

※貴社が健康経営度調査Q70.SQ1.で回答した内容を転記しています。

健康経営優良法人2022（大規模法人部門）認定基準適合書

貴社の認定基準適合状況

○

※「ホワイト500」に該当するかについては認定時に発表します。

評価項目	対応する設問	貴社の状況
1 健康経営の方針等の社内外への発信	Q17 & Q19 & Q19SQ1	○
2 ①トップランナーとしての健康経営の普及	Q22 or Q23	○
3 健康づくり責任者の役職	Q25	○
4 産業医・保健師の関与	Q29	○
5 健保組合等保険者との協議・連携	Q31 & Q32	○
6 健康経営の具体的な推進計画	Q36	○
7 ②従業員の健康診断の実施（受診率）	Q37(a)	○
8 ③受診勧奨に関する取り組み		○
9 ④50人未満の事業場における実施		○
10 ⑤管理職・従業員への教育	Q41 & Q42SQ2(b))	○
11 ⑥適切な働き方の実現に向けた取り組み		—
12 ⑦コミュニケーションの促進に関する取り組み		○
13 ⑧私病等に関する復職・両立支援に関する取り組み		—
14 ⑨保健指導の実施および特設健康相談窓口の提供に関する取り組み	Q40 & Q41 & Q41SQ1	○
15 ⑩食生活の改善に向けた取り組み	Q50	○
16 ⑪運動機会の増進に向けた取り組み	Q51	○
17 ⑫女性の健康保持・増進に向けた取り組み	Q53 or 54	○
18 ⑬長時間労働者への対応に関する取り組み	Q55	○
19 ⑭メンタルヘルス不調者への対応に関する取り組み	Q56	○
20 ⑮感染症予防に関する取り組み	Q59 or Q60(a) or Q60(b)	○
21 ⑯喫煙率低下に向けた取り組み	Q62	○
22 受動喫煙対策に関する取り組み	Q63	○
23 健康経営の実施についての効果検証	Q70	○
24 従業員等の人数が大規模法人部門の人数基準に該当	Q1(c)、Q3 から判断	○
25 回答範囲が法人全体	Q2	○
26 回答必須設問（設問文の左に◎が付記されているもの）への回答		○
27 全ての誓約事項を満たしている	Q5SQ1	○
28 経済産業省による一部回答の公表への同意	Q6	○

健康経営優良法人認定制度における
認定要件の対応状況を記載しています。

※項目1、3～6、22～27は必須項目、それ以外は16項目中13項目の達成が要件です。

ただし、ホワイト500については更に項目2、28も必須となり、それ以外の15項目中13項目の達成が要件です。

※対応する設問において選択肢「その他」のみを回答した場合、暫定的に当該評価項目は△としてフィードバックシートし、申請後に健康経営優良法人認定委員会で個別に判断を行います。